

Technology Liaison Fellow

東京大学産学協創推進本部

テクノロジー・リエゾン・フェロー研修制度のご案内





テクノロジー・リエゾン・フェロー研修制度とは?

産学官公民連携による地方創成を支援する人材育成プログラムです。

東京大学では研究成果の社会還元、また産学官の協働による「知の共創」を目指して、産学連携の強化、及び大学発ベンチャーの支援を行っております。その一環として、地域振興にむけた産学官公民連携を推進する人材の育成を目指した事業として、地方自治体等公的機関の職員を対象とした「テクノロジー・リエゾン・フェロー研修制度」を実施しております。

- 制度 大学・産業界・官公庁・地方自治体・市民との連携を通して、地域振興を牽引できる人材の育成 を図る東京大学独自の派遣研修制度です。地方自治体職員が対象で、原則として一年間の常勤 派遣を前提としています。全カリキュラム修了者には、東京大学からテクノロジー・リエゾン・フェロー(以下TLF)の称号が与えられます
- 内容 東京大学産学協創推進本部における産学連携推進や起業家育成・支援などの実務に積極的に参画し、連携創出や新産業育成に資する知識・スキルを身につけます。例えば、東京大学研究者へのインタビューによる連携テーマの発掘、企業・団体と研究者とのマッチングによる連携研究の創成、研究成果を活かしたベンチャー企業支援などをOJTによって体験し、最先端の学問・技術を社会に実装するための知識やスキルを学びます。併せて、関連講義・セミナーへの参加、企業・研究機関の見学、起業家との意見交換なども経験し、社会のニーズを的確に捉える目を養います。さらに研修生は「個別課題研究」として、地域課題をテーマに、情報収集から事例分析、政策・事業の企画・提案まで、一貫した調査研究活動を体験します。

特 徴 TLF研修制度は総合大学の特色を活かした人材育成を目指しています

- 産学官(公民)の広範な分野の研究者・技術者・事業者と直接対話が出来ます。
- 連携現場での多様な実施例を体験し、ノウハウを修得できます。
- ベンチャー支援の実務、起業家との情報交換を通して、起業支援の知見・スキルが得られます。
- 少人数研修ですので、各人のニーズに合ったきめ細かい指導が受けられます。
- 地域の課題を個別課題研究のテーマとして掘り下げ、施策検討を行うことが可能です。
- 大学の予算で運営しているので1年間のカリキュラムが無料で受講出来ます。
- 同期生、同窓生のネットワークを活かし、多様な地域間連携も可能です。
- 修了後は「東京大学地域振興研究会」に参加して情報交換や研鑚を続けることが出来ます。

研修カリキュラムのご紹介

1 実務実習

OJTを通して実際の産学連携活動・事業化支援活動を担当し手法を習得すると同時に、研修期間内に具体的な成果をあげることを目指します。実務経験を通して「コミュニケーションカ」「判断力」「交渉力」など、産学官公民連携の要として必要な知識・スキルを身につけることを目的としています。



1.共同研究創出実務

「東京大学産学連携(UCR)プロポーザル」(http://proposal.ducr.u-tokyo.ac.jp/)は、本学研究者の研究成果やプロジェクト提案をウェブ上で情報発信するシステムです。公開提案について企業などから問い合わせを受け、共同研究の橋渡しをします。逐次更新され常時約1600件の掲載テーマを持つ国内最大規模のシーズ集です。これまで国内外の企業等から多数問い合わせを受け約1500件の連携を創出しました。TLF研修生はこのUCR-プロポーザルの運営に携わり、次のような実務に従事します。

技術調査・発掘

TLF研修生は、産学協創推進本部プログラムオフィサー・研究員と共に、文系理系各分野の本学研究者とのインタビュー(年間40~50回程度)を行います。研究成果や構想を一線の研究者から直接聞くことで諸分野の課題や最先端知識が得られます。

システム運用

教員へのインタビューを通して作成された産学連携提案テーマをウェブで公開し、共同研究など連携を希望する企業・団体を募ります。また、学内外の各種イベントでの紹介など広報普及活動も行います。

マッチング活動

公開したテーマに関する企業等からの問合せに対応します。本学研究者と企業と の会議設定や議事進行など、共同研究等 連携創出にむけた活動を支援します。

2.アントレプレナーシップ教育・ベンチャー支援実務

大学の研究成果を社会に還元するため、教員や学生が起業する例が年々増加しています。大学の「知」が 社会のイノベーションに効果的に活かされるよう、産学協創推進本部では学内ベンチャー企業の支援、 学生に対するアントレプレナーシップ教育を実施しています。TLF研修の一環として、これらの事業に 参画し、起業支援・インキュベーション実務や人材育成活動を体験し、地域における新産業創出・創業支援に関するノウハウを獲得します。

大学発ベンチャー支援

大学内の研究成果を活かした起業に関する相談事業やインキュ ベーション施設運営ついて、支援実務を通して、起業家の志向や ニーズ、支援上の課題などを学びます。

イノベーション人材育成活動

学生向けアントレプレナーシップ教育プログラム「東京大学アントレプレナー道場」について運営を補佐するとともに、受講生としてビジネスプラン作成などを体験します。また、随時開催されるイノベーション人材育成事業の開催支援を通して、起業家育成事業に関する知見を得ることができます。

3. 産学官交流・連携創出実務

産学官交流・連携創出の場として「科学技術交流フォーラム」の開催、ビジネスフェア出展他、本学研究者の共同研究提案や事業アイデアを積極的に社会へアピールする活動を展開しています。これらの対外発信支援とともに、そこから生まれる産学連携コンソーシアムの運営などにも携わり、連携促進活動の企画・運営スキルを学びます。



2 講義・見学

産学連携に関する基礎知識を中心とした講義に加え、研修生の専門性や関心分野を考慮して、随時見学・研究室訪問や学内外のセミナーの受講などを行います。

全研修時間の 約 **10**%

産学連携関連

連携コーディネート、技術・知財マネ ジメント、起業支援、人材育成など

産学官連携に係る基礎知識やスキルについて、専門の教員による講義を行います (年間15講義程度)。この講義は研修生のみを対象として開講されるため、密度の高い意見交換を行うことができます。

見学・研究室訪問

学内外の研究施設の他、研修生の関心 に応じて企業・地域活動の見学、研究室 訪問など随時実施します。研修生の自主 企画による見学等を推奨し、当本部の教 員・プログラムオフィサーは実施を支援 します。

学内外のセミナー・ 研修への参加

当本部で開催する「東京大学アントレプレナー道場」の受講の他、産学連携に係る学内外のセミナー・研修への参加を支援 します。

3 個別課題研究

派遣元自治体の地域特性や課題などをふまえ、各研修生が個別にテーマを設定し、専属のメンターのアドバイスを受けながら情報収集から課題解析・解決策提案まで一貫した活動を展開します。地域の客観的な再評価、それに基づいた企画立案の機会を得ることによって、「分析評価」「企画提案力」の研鑚を図ります。研修修了時に、当本部教員全員を対象として活動成果の発表を行います。

全研修時間の 約**20**%

テーマ設定

各研修生の関心に応じて自由にテーマを 設定できます。派遣元自治体の要望を反 映することも可能です。例えば、地域の特 徴を見直し、学内の研究成果を基に施策 提案を行う、あるいは産学官公連携への 具体的なプランを作成といったケースス タディも可能です。

プレゼンテーション

活動開始時にテーマ提案会、その後中間報告会、修了時に最終発表会を開催し、研究の進捗状況に応じて当本部教員との意見交換を行います。多くのコメントやディスカッションを経ることで、より具体的な提案にむけた視野を得ることができます。また、発表を重ねることでプレゼンテーション・スキルの向上にもつながります。

個別メンターによる指導

産学協創推進本部内の教員・プログラム オフィサーが各研修生の個別メンターと なり、研究活動の進め方や発表資料の作 成等について随時アドバイスを行います。



東京大学地域振興研究会

TLF研修修了生が地元に帰任後も地域振興策に関する研究・提言を継続できるよう、研修生と本学教職員を中心とした研究会を2008年に設立しました。本学の地域振興に関わる研究成果や各自治体における取り組みなどに関する情報交換を行い、産学官公民連携による地域イノベーション推進にむけての検討・提言を行うことを目指しています。

本会では会員と本学、あるいは会員相互の連携をさらに深めるため、毎年秋に年次総会を開催しております。 総会では本学の研究成果及び各地域での事業展開等を発表し、産業振興・地域活性化にむけて活発な議論 を展開しています。このような活動を通して、TLF研修制度の継続的・効果的な進展を推進しております。

派遣元自治体一覧 38都道府県・市・区/計96名 (2000-2019年) 図中の数値は参加人数 ■ 都道府県からの派遣 ○ 市区から派遣 鶴岡市/1 大田区/6 横浜市/1 中野区/1 広島市/1 江戸川区/3 市/2 川崎市/5 藤沢市/2 那覇市/1 文京区/5

テクノロジー・リエゾン・フェロー研修へのお申し込みについて

目的

地域振興に貢献する産学官公民連携の専門家を自治体内に育成することを目的とします。本研修を受講し、大学や産業界等と連携した産業振興・地域振興プロジェクトを立案・実行するマネジメント能力を有すると認められる者を「テクノロジー・リエゾン・フェロー(TLF)」と称します。

体制

TLF研修は東京大学産学協創推進本部イノベーション推進部が運営しております。 当部は東京大学で生まれた研究成果を社会・産業界に還元し、イノベーションを推進 することを目指し、産学官公連携の共同研究創出、大学発ベンチャー支援、及びイノ ベーション人材の育成などを主務としています。

研修期間

原則1年間(毎年4月1日から翌年3月31日まで)*。平日の常勤。

*注意 派遣元で特にご要望がある場合は、年度を超えた継続派遣やカリキュラムの部分参加など、 例外措置についても協議・検討をいたします、下記問合せ先までご相談下さい。

研修生の条件

都道府県、市、特別区など地方自治体、および関連する公益法人などの職員であり、所属機関から推薦・派遣されることが前提。産学連携に関する業務を現在担当する、もしくは将来担当の可能性があるなど、本プログラム受講が業務上有効と考えられる方。 行政職、技術職のいずれも可。

定員

3-6名

研修受講料

無料

修了証

本研修の全カリキュラムを修了した方には修了証を授与します。

研修場所

東京大学産学連携プラザ(本郷キャンパス)

研修環境

期間中に必要な執務場所、OA機器等は産学協創推進本部で用意します。 研修に必要な交通費・旅費は支給します。

申込締切

第一次締切:本年10月31日

※定員になり次第、締め切らせていただきます。 ※定員に満たない場合は引き続き募集を継続します。 ※詳細は東大産学協創推進本部WEBをご覧下さい。 http://www.ducr.u-tokyo.ac.jp/

_____ 問合せ先

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 産学連携プラザ 東京大学産学協創推進本部イノベーション推進部

TLF 研修担当 阿部·上野

E-Mail: tlf-staff@ducr.u-tokyo.ac.jp

※ご連絡頂ければ、本プログラムの詳細についてご説明いたします。